KCCI 地域経済四季報／Ｅ-クオータリー

Vol.1(特別号)
2021.09.02
唐津商工会議所

1．地域経済と課題

(1) 特別定額給付金の 10 万円はかなり部分が預貯金に蓄えられている。5 人家族で 50 万円だから大きい。また、コロナ対応融資が無担保の.ため通常より多めの融資申し込みがあり、当面の実費用との差額が金融機関にたまっているように思える。
(2) 今回の時短要請、引き続く「まん延防止」では、時短よりも休業が目立つ。飲食店自体だけでなく酒・食材納入業者など幅広い業者がボディブロウのような影響を受けている。廃業につながらないか心配される。
(3) 時短等の影響は例えば駐車場経営にも表れている。中心部では 2/3 に減っている、特に夜の減少が大。
(4)「密」と「薄利多売」の関係が深い。ポストコロナを見通して「薄利多売」のビジネスモデルからの脱却を目指した取り組みが必要と思われる。
(5) 自動車全面 EV 化されると、約 3 万点と言われる部品数が 1.5 万点に半減するといわれている。裾野の広い自動車産業であるため唐津の事業所にも影響が出る可能性がある。
(6)「九州の宿泊者の半分は九州在住」(唐池九州観光機構会長)。→当面の方策のヒントがありそう。

2．経営相談（巡回・窓口）から見える地域経済と課題

(1) 4 月から 8 月までの巡回指導 373 件、窓口指導が 1433 件を行った
(2) 8 月 11 日の大雨災害により、昭和自動車の整備工場（和多田）の浸水、廃油が流出した
(3) コロナ対策での事業再構築補助金（国)、新事業チャレンジ支援補助金（県）等の既存事業を見つめ直し新たな事業に取り組むための補助金の相談が増えてきた
(4) コロナ禍でも創業資金等の 4 月から 8 月までの相談件数は 55 件と需要はコンスタントにある。
(5) 県の時短要請（8 月 20～26 日、8 月 27 日～9 月 12 日）の特徴は営業時短より休業の方が多いようだ。
(6) 日本政策金融公庫の 2020 年の佐賀県内の創業融資の件数は 197 件、10 億円。(過去 2 番目の高水準)
コロナの影響で創業が見送られ、創業前の融資が減少し、資金需要増による創業 1 年以内が増加。

3．LOBO 調査（毎月）＆景況調査（4 半期毎）＆事業承継

(1) LOBO 調査の概要

8 月の業況 DI は、感染急拡大により悪化。先行きは、感染収束が見通せず、厳しい見方続く

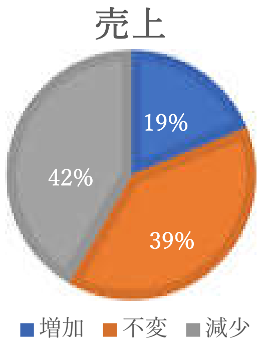
・全産業合計の業況 DI は、▲29.4（前月比▲ 5.3 ポイント）

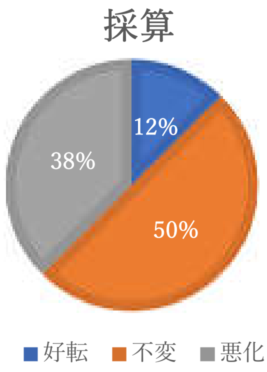
全国：新型コロナウイルス変異株の感染急拡大により、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の期間延長・対象地域の拡大が実施された。これに伴う帰省を含む外出自粛やイベントの中止、営業制限等の影響により、客足が減少した百貨店などの小売業や、観光関連を中心としたサービス業の業況感が悪化した。また、鉄鋼や木材などの原材料価格の上昇、東南アジアの感染拡大による部品調達難が製造業、建設業など幅広い業種における業況の押し下げ要因となっている。業況回復に向けた動きが見られていた中小企業の景況感は、厳しい状況が続く。

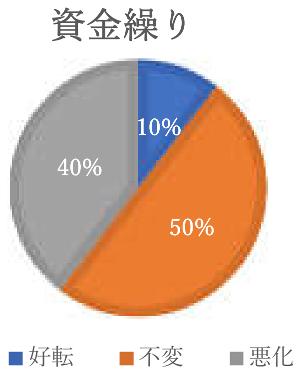
九州：8 月の業況 DI は悪化。サービス業では、沖縄県で緊急事態宣言が続く中、福岡県と熊本県にもまん延防止等重点措置が適用され、帰省や旅行需要が低迷したことで、飲食・宿泊業を中心に資金繰りが悪化し、業況感が悪化。また、卸売業では、ホテルや飲食店を取引先とする飲食料品関連で引き合いが減少して売上が悪化したほか、食用油や小麦粉等の仕入価格が上昇する中、販売価格への転嫁が進まず、採算も悪化した。

（2）景況調査の概況（調査先：市内 48 事業所）

前年同期（2020 年 4～6 月）と比べた今期（2021 年 4～6 月）の状況







直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞　　　　　　　　小売業：消費者ニーズの変化への対応

サービス業：需要の停滞　　　　　　卸売業：需要の停滞

建設業：従業員の確保難

→5 業種中、3 業種で「需要の停滞」が挙げられている。コロナによる外出や買い物の自粛が影響している思われる。

（3）事業承継の概況

事業承継診断結果（平成 30 年度から令和 2 年度までの約 3 年間）

調査先　666 件　（法人　376 件（56%）・個人 290 件（44%））

①全体：後継者決定先	348 件（52%）	未定先	151 件（23%）	不在先	167 件（25%）
②法人：後継者決定先	223 件（59%）	未定先	98 件（26%）	不在先	55 件（15%）
③個人：後継者決定先	125 件（43%）	未定先	53 件（18%）	不在先	112 件（39%）

→後継者が決定している事業者は約半数の 52%（法人 59%・個人 43%）、その他、後継者不在先で見てみると、法人の 15%に比べ個人の割合が 39%と多くなっている。

4．唐津の街のトピックス

（1）太良町のアスパラ農家が豪雨で出荷できず唐津の友人に SOS→SNS で拡散、すぐに完売。

（2）KARAE2 階の事務室がすべて満室になった。

（3）「映画を観た後は町へ繰り出そう」の協力店が増えてきた。中心商店街活性化の波及効果が期待できる。

（4）九電火力跡（西側）のラグビー場の整備がほぼ完成した。緑の芝生がきれい。外から見られるようになれば、多くの市民に親しまれると思われる。

（5）移住者が増えているように思える。林原麻里子さんは「今、プチ唐津ブームが起きている」と観察されている。唐津へ移住したフリーライターのつながりで大手出版社の編集長らが 8 月には 2 回も唐津を訪れた。

（6）「ドン・キホーテ」が鏡に進出、2022．4 開店。まいづる 999 が全面再開発 2023．4 開業予定。

（7）（株）唐津ケーブルテレビジョンが人口減少、通信技術の進歩を見通して、（株）ぴーぷるに社名変更

（8）和多田に唐津で初めてのスターバックスのオープン準備が進んでいる。

（9）東京・銀座八丁目の「サロン・ド慎太郎」の経営者でママの矢部慎太郎さんが唐津の呉服町にうつわ等のお店を出される。現在、店舗改装中。

（10）和多田のあんくる夢市場が 9 月 26 日で閉店する。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Ｅクオータリー』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。　唐津商工会議所　TEL：72-5141　FAX：72-5146　Email：kcci@karatsu.or.jp